

実践口腔科学コアセミナー

2 units (selection) 1st-year(whole year), 2nd-year(whole year)

Seiichiro Kitamura (Manager) · PROFESSOR / 口腔健康科学講座, COURSE OF ORAL SCIENCES, **Kikuji Yamashita** · ASSOCIATE PROFESSOR / 口腔健康科学講座, COURSE OF ORAL SCIENCES

Kaori Sumida · ASSISTANT PROFESSOR / 口腔健康科学講座, COURSE OF ORAL SCIENCES

Target 口腔顎顔面領域の形態と機能の回復に必要な局所解剖学的知識を習得するとともに、硬組織再生機構に関する研究の進捗状況を把握させる。

Outline 輪読会または抄読会・論文紹介形式での演習により、口腔科学に関する一般的知識を習得する。

Notice 毎回出席を取り、出席状況も評価の対象とする。

Schedule

- 1~10. 口腔顎顔面領域の形態と機能の回復に必要な局所解剖学的知識 (ANATOMY FOR SURGEONS Volume 1' の必要な部を輪読会の形式で訳していく。分担部の訳をレポートとして提出する。) (担当者: 角田佳折)
- 11~20. 口腔顎顔面領域の形態と機能の回復に必要な局所解剖学的知識 (口腔顎顔面領域の局所解剖学に関する適切な論文を選択し、その概要を紹介する。) (担当者: 北村 清一郎)
- 21~30. 硬組織再生機構に関する研究の進捗状況 (硬組織再生機構に関する最近の論文を選択し、その概要を紹介する。) (担当者: 山下 菊治)

Evaluation Criteria レポートを提出させ、授業の目的が達成されているか否かを判定する。

Re-evaluation 成績不良の場合にはレポートを再提出させる。

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217437>

Contact

⇒ Kitamura (口腔顎顔面形態学分野教授室, +81-88-633-7319, kitamura@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 時間の取れる限り対応します。メールにて時間調整の上、面談して下さい。)

Note 特記事項なし。